

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
保育所等訪問支援 あんじゅ		R8 年 3 月 2 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3		訪問先施設との打ち合わせをして、今現在はこちらから用意する教材などは使用していません。	必要な際は事前に準備をして臨みたいと思います。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		現在は3名の訪問支援員で提供させていただいていますが、訪問支援のご依頼が多数ある事から人員を増やして対応できるように体制を整えています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		日々のミーティングや職員との面談、職員会議でのケース会議を通して支援の振り返りと改善を常に話し合っています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		日々の保護者との連絡や面談、評価表の公表などを実施することで業務改善を行っている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		職員との面談や職員会議で出された改善案をすぐに取り入れPDCAサイクルをしていくことで業務改善を行っています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		社長や統括に業務内容について密に会議をする、また、療育アドバイザーによる療育や業務について相談や評価をしてもらい、改善へとつなげています。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		療育アドバイザーの下月に一度、勉強会を開く。また、会社全体で社会人研修、接遇マナー研修なども行っています。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		アセスメントシートを活用し、保護者、訪問先施設と子ども達の情報共有を共にしていく。また、モニタリング前やケース会議を通して全職員が子ども達の個別支援計画の内容を把握しています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		子ども達の支援を適切に行う為、訪問支援員間でケース会議を開くことで職員の共通理解を高めています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		訪問先施設と支援前の確認、支援後の振り返り(間接支援)を通して施設側職員の意向を伺うようにしています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		訪問支援員が個別支援計画の内容を把握し、ねらいを持って支援をしています。また、日々のミーティングにて振り返りを行い支援の向上に努めています。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		会社で作成されたアセスメントシートを児童発達支援用に修正したものを使用しています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		個々の発達や課題を踏まえガイドラインに沿って支援内容を検討しケース会議、個別支援会議で十分に話し合ったうえで支援しています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		個別支援計画に沿って、職員間で常に把握し、日々のミーティングで検討、改善をしながら支援に当たっています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		日々のミーティングの中で支援内容の見直し、子どもの予想される行動を想定しながら支援の確認、検討をするなどチームで取り組んでいます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		支援後ミーティングの際に振り返りを必ず行っています。支援の結果はどうだったか、子ども達の成長発達に最善であったかを常に話し合うようにしています。	

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		訪問先施設の支援の方法や現在の課題、理念をお聞きし支援をするよう努めております。	支援の方法について、その都度訪問先施設様と確認を取っていくよう努めてまいります。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		一人一人、支援の記録をしている。また、月に一度子ども達の記録を見直し支援の検討、改善をして取り組むようにしています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		半年に一度はモニタリング、個別面談を行いアセスメントをもとに個別支援計画の見直し作成をしています。また、職員間で検討会議などを通して支援内容を把握するようにしています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		訪問支援員と責任者、児童発達責任者が出席しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		地域の関係機関、保健師や、相談員と連携を図り支援の方向性を統一できるように努めています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		小学校就学の際に、支援学級担任や校長先生、教頭先生と訪問支援員とで子どもの情報共有をしています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		療育アドバイザーの下月に一度、勉強会を開催し研修を行っています。その際に支援の方法や特性のある子ども達への対応の仕方など学んでおります。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		現在は参加できておりません。	情報を収集し、自立支援協議会などへの会議にも参加させていただきたいと思っております。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		日々の送迎時、連絡帳やLINEを活用してしっかりとその日の様子を伝えていきます。また、面談やモニタリングを通して園や家庭での子供の様子を聞くなどして情報交換をしています。	
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		定期的にあんじゅカフェを開催し、保護者同士の交流、小学校就学についての研修など行っています。また個別に家族面談なども行って情報提供を行っています。		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時に運営規定、支援について、利用者負担等について説明しています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		訪問先施設の先生方と訪問支援の目的などについて説明をさせて頂き、ご協力いただいております。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		モニタリング、アセスメントをもとに児童発達支援ガイドラインに基づいて個別支援計画を作成しています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		面談の際は保護者の意思を尊重、確認を行い個別支援計画書を作成し、同意を得ています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		定期的に個別に面談を行い、半年に一度のモニタリングをして保護者の悩みや相談に応じ助言しています。また、保護者の悩みや相談に対し職員で検討し支援の向上に努めています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		定期的にあんじゅカフェを開催し、保護者同士の交流、小学校就学についての研修など行っています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		相談窓口、苦情窓口を設け相談や問い合わせがあった際は当日、翌日には対応できるように努めています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		一人一人の月次報告を保護者と関係機関、訪問施設に配布したり、ホームページを活用することで保護者に発信しています。	
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報の取り扱いについては契約時に確認し、書類などは鍵の付いた棚にその都度直すようにしています。		

	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		保護者との意思疎通や情報伝達のために個別LINEや公式LINEを活用しています。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		訪問先施設と連絡を取り合い、電話で相談を受けるなど密に関わるよう努め、その際に必要な助言をさせて頂いています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		訪問支援後に必ず行うようにしており、その際に先生方の意向や訪問先施設の意向をお聞きしながら一緒に今後の支援について考えております。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		訪問支援後に保護者へ連絡帳やLINEなどで伝達することと、送迎時に直接口頭で伝達するよう努めております。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報の取り扱いについては契約時に確認し、書類などは外部に持ち出さないようにしております。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		訪問先施設の意向をお聞きし、誠実に向き合っていく中で信頼関係を気付いていけるように努めております。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各種マニュアルを作成し、事業所に掲示している。毎月、防犯、自然災害の避難訓練を実施、保護者に報告しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全管理マニュアル、感染予防マニュアルなどを作成し、定期的に研修を行っています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハット事案が発生した際には記録に記載し、職員会議で検討、改善を図るよう努めております。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待防止委員会を設置し、外部の施設と合同で研修を行うこともあり、様々な視点からの研修をしています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		身体拘束は行いません。	